

よく使われる生薬69

漢方薬を構成する天然の原料を、保存できるように調整したものを生薬と言います。ここではよく使われる生薬69種を50音順に並び、その原料名や、特色、効果を紹介しました。生薬は民間薬とは違い、単独で使用することはほとんどなく、2種以上の組み合わせで処方します。漢方処方についてはP259を参照してください。



おう こん
黄芩 シソ科
和名コガネバナ

—胸脇苦満・下痢を治す 鎮嘔—
コガネバナの根。紡錘状または平板状で、外面は緑黄色である。破折面は鮮黄色で苦みがあるものがよい。フラボノ配糖体などを含み、炎症、充血をとり去る効果があるので胃炎、腸炎などに。



おう ぎ
黄耆 マメ科
和名キバナオウギ

強壯 排膿 皮膚の栄養 血圧を下げる
キバナオウギやオウギ属植物の根を乾燥したもので、色は外面灰褐色。木部は黄白色のものがよく、木部の白いものはよくない。綿黄耆といって、かんでみてかすかに甘みのあるものを用いる。



あ きょう
阿膠

—止血 鎮咳 強壯—
牛、豚、ろばの皮からとったニカワ。板状の固塊で黄褐色。半透明または不透明で無味無臭。粉末にして市販されていることが多い。強壯、強精、止血、鎮静の効があり、また皮膚のつやをよくする。



かっ こん
葛根 マメ科
和名クズ

—発汗 解熱 緩解 止瀉—
クズの根のふくらんだ部分を縦切り、またはサイコロ状に細切りして乾燥したもの。新鮮で白く、充実していて指で押すと粉になつてくずれるものがよい。発汗、解熱の効があり、筋肉の緊張をとる。



おう れん
黄连 キンボウゲ科
和名オウレン

—健胃 鎮静 消炎 止血—
オウレンのヒゲ根を焼き去った根茎。外面は黄褐色で、湾曲し、ところどころに細根が、上端には葉柄が残っている。ペレペリンを含み、とても苦く、健胃、鎮静、消炎、止血などの薬効がある。



おう ばく
黄柏 ミカン科
和名キハダ

—健胃整腸 消炎—
キハダの樹皮のコルク層を除いて乾燥したもので、破折面は黄色繊維性である。内面は黄色から黄褐色。味はきわめて苦く、粘液性である。炎症や打撲、結核、肺炎、また、胃腸の病気に効果がある。



枳実

ミカン科
和名ダイダイ ナツ
ミカンなど

健胃 鎮痛 胸や腹の膨張を治す
ダイダイ、ナツミカンなど、ミカン類の未熟果実をそのまま、または半分に割って乾燥したもの。芳香性で果皮が厚く、かなり苦みのあるものがよい。成熟果を干したものは枳殼と言ひ、効能は同じ。



桔梗

キキョウ科
和名キキョウ

去痰 排膿 咽痛を治す
キキョウの根。生干しとされるものは冬季に皮をむかずに乾燥したもの、晒桔梗は皮をむいて乾燥したもの。胸やのどの痛みを治し、去痰や排膿の効もある。生干しのほうがサポニンの含有量が多い。



甘草

マメ科
和名カンゾウ

急迫症状を治す 鎮痛 解毒
ウラルカンゾウ、スペインカンゾウまたはその類似植物の根、または葡萄莖。ヒゲ根や幼芽などを除いて、乾燥したもので、特有の甘さがあり、味をよくするために、各種の処方に加えられる。



杏仁

バラ科
和名アンズ

鎮咳 利尿 緩下
アンズの種子。左右不均等で扁平な卵形で、一端がとがり、もう一端は丸みがある。種皮は薄く、褐色で、子葉は白く、油性に富み、苦みがある。胸間の停水を治し、喘咳、心痛を治す。



羌活

セリ科またはウコギ科
和名シジウドまたはウド

発汗 鎮痛 解熱 利尿
シジウドの根とされているが、市販品はウドの若根を乾燥したもの(老根を独活という)。質が軽く、香りのよいものがよい。発汗、鎮痛剤で、特にかぜや、諸関節痛、筋肉痛などに効果がある。



菊花

キク科
和名キク

消炎 鎮静
キクの頭状花を乾燥したもの。新しく芳香があり、あまり苦くないものがよく、各品種のキクが用いられており、加工法、採集時季もまちまち。消炎、鎮静の効果がある。眼疾や頭痛などにも。



紅花

キク科
和名ベニバナ

駆瘀血 鎮痛
ベニバナの管状花を花期に採取し、乾燥したもの。赤色または赤褐色で特有の香りがあり、味はやや苦い。血液を清浄にし、ウツ血をとり、月経不順や婦人病、ことに腹の痛む病気に効果がある。



桂枝

クスノキ科
和名ニッケイ

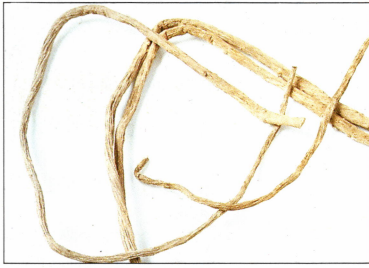
発汗 解熱 鎮痛 健胃 整腸
ニッケイ類の樹皮。ベトナム、中国の広東、広西産のものが薬方でよく用いられる。辛くて芳香があり、適度の粘性のもののがよい。発汗、解熱、鎮痛などの効果があり、桂枝を配剤した処方が多い。



荊芥

シソ科
和名アリタソウ

発汗 解熱 解毒
アリタソウの全草を乾燥したもの。花穂のみを乾燥したものは荊芥穂という。芳香性が強い。発汗、解熱、解毒、止血、化膿を治すなどの効果があり、諸種の瘡瘍や皮膚疾患を治す処方に配剤する。



こ しつ **牛膝** ヒユ科
和名イノコズチ

— 駆瘀血 利尿 強精 通経 —
ヒタノイノコズチの根に秋に採取し、地上茎と側根をとり去り、乾燥したもの。においはほとんどないが、味は少し甘く粘性性。筋肉や関節の痛み、脚気、腰痛、中風、産後の腹痛などに。



こう ぼく **厚朴** モクレン科
和名ホオノキ

しゅうれん 収斂 利尿 去痰 気分を明るくする
ホオノキの幹や太い枝の樹皮。板状、または半管状で、外面は灰白色か灰褐色で内面は淡褐色。わずかに芳香があり、味はやや苦い。筋肉の硬直、ケイレン、胸腹部の膨満、喘咳などに効果がある。



こう ぶ し **香附子** カヤツリグサ科
和名ハマスゲ

— 発散 駆瘀血 鎮痙 —
ハマスゲの塊茎を秋に採取し、ヒゲ根を焼き去り乾燥したもの。長卵形または紡錘形で、湾曲したものもある。わずかに苦く、少し芳香もある。神経性の頭痛や腰痛、月経不順、月経困難などに。



さい こ **柴胡** セリ科
和名シマサイコ

— 肝臓機能の調整 解毒 解熱 鎮静 —
シマサイコの根を乾燥したもの。日本産が最上だが、市販品は中国産が多い。特異なおいがあって苦く、折ってみてやわらかい感じの、油分の多そうな新鮮なものが良質。胸脇苦満、邪気をとる。



ご み し **五味子** モクレン科
和名チョウセンゴミシ

— 滋養強壯 鎮咳 収斂 —
チョウセンゴミシの成熟果実を乾燥したもの。しわがあってやわらかく、暗褐色または黒褐色でしばしば白い粉がついている。芳香性で酸味の強いものがよい。滋養強壯、鎮咳、収斂の効果がある。



ご しゅう ゆ **呉茱萸** ミカン科
和名ゴシュユ

— 健胃 鎮吐 鎮痛 利尿 —
日本産のゴシュユの未熟果、または中国産のトウゴシュユの実を乾燥したもの。特有のおいがあり、辛くて残留性の苦みがある。体を暖め、健胃、鎮吐の効果があり、胃内停水や頭痛を治す。



さん そう にん **酸棗仁** クロウメモドキ科
和名サネブトナツメ

— 神経強壯 収斂 催眠 —
サネブトナツメの種子。アズキ色の油性に富んだ種仁で、中国やビルマからの輸入品が多い。わずかににおいがあり、味は甘い。神経の強壯剤で、不眠、多眠、寝汗を治す。



さん しゅう ゆ **山茱萸** ミズキ科
和名サンシュユ

— 滋養強壯 強精 収斂 —
サンシュユの熟果をしばらく熱湯に浸してから乾燥し、半乾きのとき種子をとり出し、よく乾燥させたもの。新しいものは赤紅色、古くなると赤黒色。酸味がある。体を暖め、腰の脱力、疼痛に。



さい しん **細辛** ウマノスズクサ科
和名ウスバサイジン

— 鎮痛 鎮静 解熱 鎮咳 去痰 —
ウスバサイジンの根茎と根を乾燥したもの。特異なおいがあり、細くて辛いことから細辛という。体を暖め、せきを止める。頭痛や胸痛を治し、口中の臭気を消して口内炎にも効く。



じ こっ び
地骨皮 ナス科
和名クコ

解熱 強壯 強精 利尿 消炎

クコの根の皮。管状または半管状で外皮は黄褐色、わずかに香気と甘みがある。解熱、強壯の作用があり、結核性疾患などの処方に配合される。利尿、消炎の効もある。肺結核や糖尿病に使われる。



じ おう
地黄 ゴマノハグサ科
和名アカヤジオウ

強壯 強精 補血 鎮痛

アカヤジオウの根。日干しにした乾地黄は比較的太くて外面は灰褐色。味は甘く、あと苦い。熟地黄は特殊な方法で発酵させてから乾燥したものの。いずれも糖尿病や前立腺肥大症、白内障などに効く。



さん やく
山薬 ヤマノイモ科
和名ヤマノイモ

滋養強壯 強精 鎮静 補血

ヤマノイモの根の外側の皮を除いて乾燥したもの。粉質、円柱状や板状のものがある。白色で質が重く、味は少し甘い。疲労を回復し、腰痛や下痢を治す。補血、強壯の効もあり、元気になる生薬。



しゃ ぜん し
車前子 オオバコ科
和名オオバコ

消炎 利尿 鎮咳

オオバコの種子。光沢のある、黒褐色のよく充実した種子がよく、味はわずかに苦くて粘性性である。コハク酸、コリンなどを含む。膀胱炎、尿道炎、前立腺肥大、眼疾などを治す処方に配剤する。



しゃく やく
芍薬 キンボウゲ科
和名シャクヤク

緩和 鎮痛 筋肉をほぐす 駆瘀血

日本シャクヤクの根を皮部(コルク層)を除いて日に乾かしたもの。わずかに甘く、あとに収斂性がある。筋肉をほぐし、ウツ血をとり、血行をよくする。下痢、腹痛、知覚マヒ、婦人病、腫腫などに。



し し
梔子 アカネ科
和名クチナシ

消炎 利尿 鎮静 鎮痛 止血

クチナシの成熟果をそのまま、または軽く蒸して乾燥したもの。山梔子とも呼ぶ。外面赤褐色から黄褐色、特有のにおいがある。打撲症、胸苦しさ、ジンマ疹、口内炎、胃腸炎、ノイローゼに。



しょう きょう
生姜 ショウガ科
和名ショウガ

健胃 鎮嘔 しゃつくりを止める

ショウガの生の根茎。これをそのまま乾燥させたものが乾生姜、蒸してから乾燥したものを乾姜と呼んで区別している。芳香があり、健胃、鎮嘔などの効がある。乾姜は体を暖める作用が強い。



じゆつ
朮 キク科
和名オケラ

健胃 鎮痛 利尿

ホソバオケラの根茎。質が充実し、断面に細点があり、香りが強く精油を多く含むのがよい。コルク皮をとり除いた白朮と老根の蒼朮があり、両者を区別する処方としない処方がある。



しゆく しゃ
縮砂 ショウガ科
和名シュクシャ

健胃 鎮痛

シュクシャ(カラシュクシャ)の果実。かむと特異なおいがあり、味は辛い。芳香が強く、精油含量の多いものがよい。日本産の伊豆縮砂が代用されることがあるが効力は劣る。健胃、鎮痛に有効。



せん きゅう
川芎 セリ科
和名センキョウ

—補血 強壯 鎮静 驅瘀血—
センキョウの根を晩秋から初冬に掘り
とって、乾燥したもの。不整の塊状で、
外面は暗褐色で特異な香気があり、味は
苦い。頭痛やのぼせ、貧血性筋血などに
効き、婦人の病気にもよく用いられる。



せつ こう
石膏 天然の軟石膏

—鎮静 消炎 解熱 止渴—
天然の軟石膏(含水硫酸カルシウム)
の塊状体。日本でも産出するが、ほとん
ど中国産の輸入品。口渇を治し、熱を下
げ、興奮をしずめる作用がある。鎮咳の
効もあり、気管支の病気やかぜに。



しょう ま
升麻 キンボウゲ科
和名サラシナショウマ

発汗 解熱 解毒 鎮痛 止血
サラシナショウマの根茎。結節状不整
形、外觀は暗褐色で、多くの根の残基が
あり、においはなく、苦くてやや渋い。
口内の疾病、痔疾、感冒、麻疹、のどの
はれなどに効果がある。



だい おう
大黄 タデ科
和名トウダイオウ

—消炎下剂 驅瘀血 排膿—
中国産のタデ科植物、トウダイオウの
根茎で製法により唐大黄、錦紋大黄があ
る。消炎誘導作用がある下剤で、用い方
によっては下痢止めにもなる。胸腹満、腹
痛、便秘、黄疸、腫膿などに効果がある。



そ よう
蘇葉 シソ科
和名シソ

利尿 発汗 鎮咳 健胃 鎮静
シソ、チリメンシソの葉を夏に採取し
て、乾燥したもの。味はわずかに苦く、
シソ特有のにおいの強いものがよい。発
汗、健胃、利尿、鎮咳の効があり、気の
ウツ滞を發散して気分を明るくする。



そう はく ひ
桑白皮 クワ科
和名クワ

—消炎 利尿 鎮咳—
クワの根の皮を乾燥したもの。日本産
は根皮をそのまま乾かし、中国産はコルク
層をとり除いているのできれいな白色
になっている。せきや痰をおさめ、利尿
の効果もあり、また高血圧症にも。



ちく じょ
竹茹 イネ科
和名ハチク

鎮静 鎮咳 解熱 止血 清涼
ハチクなど青竹の表皮をはぎ捨て、白
色部を薄く削って綿状としたもの。わず
かに苦みがあり、清涼感がある。鎮静、
解熱、鎮咳、止血の効がある。葉部(竹葉)
で代用することもある。



たく しゃ
沢瀉 オモダカ科
和名サジオモダカ

—利尿 止渴—
サジオモダカの塊茎。茎柄と細根をと
って乾燥したもの。肥大充実して重く、
断面は淡黄色をしたものが良質。膀胱の
機能を調整し、利尿の作用がある。口渇
を止め、めまいや頭痛に効果がある。



たい そう
大棗 クロウメモドキ科
和名ナツメ

強壯 鎮咳 鎮痛 緩和 利尿
ナツメの果実を乾燥したもので、市販
品の大棗は中国各地に産出したものを輸
入したもの。新鮮で肥大し、うるおいが
あって、甘みがあり、赤褐色をしたもの
が良質。せき、腹痛などに効果がある。



ちよう とう
釣藤 アカネ科
和名カギカズラ

鎮静 鎮痙 降圧

カギカズラの鈎棘(一種のとげ)と茎を乾燥したもの。釣藤鈎ともいう。脳動脈の硬化、ケイレンによる頭痛、乳幼児のひきつけなどに用いる。精神不安や、興奮、めまい、ケイレン、頭痛なども治す。



ちよう こう
丁香 フトモモ科
和名チョウジ

健胃整腸 興奮 鎮嘔

チョウジのつぼみを乾燥したもの。スパイスのクローブのことで、丁子ともいう。芳香性でオイゲノートなどの精油を含み、健胃、興奮の作用がある。しゃっくり、嘔吐、胃腸虚弱などに。



ち も
知母 ユリ科
和名ハナスゲ

解熱 利尿 鎮静 清涼 しゃっくりを止める

ハナスゲの根茎を日干ししたもの。味は甘くて苦い。肝臓、腎臓、胃などの熱をとるとされ、胸の中が熱く苦しい状態や、痰や口渇を治す。体が熱っぽくなるような諸症状をおさめる働きがある。



とう き
当帰 セリ科
和名トウキ

補血 鎮痛 強壯

トウキの根を湯通しして、乾燥したもの。主根が短く、副根は細く長く、重みがあり、香りが強く、甘いものがよい。体を暖め、血のウツ滞をとり去り、冷え症や婦人疾患にもよく用いられる。



ちん び
陳皮 ミカン科
和名ミカン

健胃 鎮咳 去痰 鎮嘔

黄熟したミカンの果皮を乾燥したもの。芳香があり、味は少し苦い。精油、配糖体などを含み、芳香性健胃薬とする。また発汗薬、去痰薬、鎮咳薬として感冒に用いる。未熟な果皮は青皮と呼ばれる。



ちよ れい
猪苓 サルノコシカケ科
和名チョレイ

利尿 解熱 止渴 鎮静

チョレイマイタケの菌体。エルゴステロール(紫外線照射によりビタミンDとなる)などを含み、熱を下げ、尿の出をよくする効果がある。また口渇を治す作用もあり、鎮痛的に働く。



ばく もん とう
麦門冬 ユリ科
和名ジャノヒゲ

強壯 去痰 鎮咳

ジャノヒゲの根の膨大部のみをとり、水洗いしたあと乾燥したもの。古くはしんを抜きとっていたが、今はしんは封入していない。新しくてうのおいがあり、淡黄色で柔軟なものがよい。



にん じん
人參 ウコギ科
和名オタネニンジン

強壯 強精 健胃 補血

オタネニンジンの根をそのまま、または軽く湯通しして乾燥したもの。特異なおいがあり、味は初めやや甘く、のちわずかに苦い。精油、サポニンを含み、代謝機能減衰、食欲不振に効果がある。



とう にん
桃仁 バラ科
和名モモ

消炎 鎮痛 駆瘀血

モモの種子。中国から輸入している。油分の多いものが良質。血のウツ滞をとり除き、疼痛を治し、軽い瀉下と消炎の作用もある。下腹部が張って痛いとき、月経不順、便秘などに効果がある。



びやく し
白芷 セリ科
和名ヨロイグサ

—鎮静 鎮痛 排膿 止血—
ヨロイグサの根を11月ごろに採取して陰干しにしたもの。根は太くて短く、芳香が強い。鎮静、鎮痛の効果があり、頭痛やめまいを治す。また止血、排膿などの作用もある。



はん げ
半夏 サトイモ科
和名カラスビシャク

鎮嘔 鎮吐 鎮咳 去痰 利尿 のぼせ
カラスビシャクの塊茎の外皮をとり除き、塩水にさらしたあと乾燥したもの。白く粉質でえぐみか少なく、粒の大きなものがよい。めまい、吐きけ、せき、痰に効果がある。半夏単独で用いることはない。



はっ か
薄荷 シソ科
和名ハッカ

—健胃 解熱 発汗 鎮痙—
ハッカまたはその変種の葉を乾燥したもの。新鮮で芳香が強く、茎の少ないものがよい。腸内のガスを除き、胃腸の調整をする。かぜ、熱、のどの病気、頭痛などに効果があり、清涼にする作用も。



ぼう い
防己 ツツラフジ科
和名オオツツラフジ

—利尿 鎮痛—
オオツツラフジの根または茎。断面は暗灰黒色で、導管部の穴は毛髪の通るくらいのもので菊状紋理が判然とし、苦いものがよい。利尿、鎮痛の効があり、浮腫、関節炎、神経痛などによい。



ぶ し
附子 キンボウゲ科
和名ヤマトリカブト

興奮 鎮痛 強心 治マヒ 新陳代謝促進
トリカブト類の近縁植物の塊根を減毒加工したもの。この生薬には猛毒成分アコニチンが含まれ、少量でも中毒症状を呈することがあるので専門医の指示に従って用いる。興奮、鎮痛、強心などの効。



ぶく りょう
茯苓 サルノコシカケ科
和名マツホド

—強壯 鎮静 利尿—
アカマツの切り株の根につく球形の菌核で、その暗褐色をした外層をほとんど除いて乾燥したもの。白色で質が軟かく、やや粘りけのあるものがよい。多糖類、トリテルペンなどを含む。



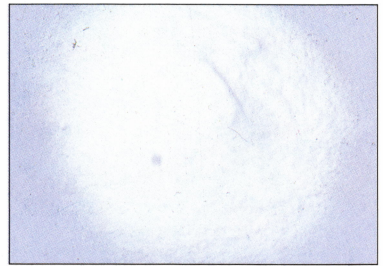
ぼ たん び
牡丹皮 キンボウゲ科
和名ボタン

—消炎 駆瘀血 鎮痛—
ボタンの根皮で、木しんは剥いてあるもの。香氣の強いものがよい。シャクヤクと同科で配糖体を含み、消炎、鎮痛の効と血のウツ滞を治す作用があり、下腹の血行障害、腰痛、硬結などに効く。



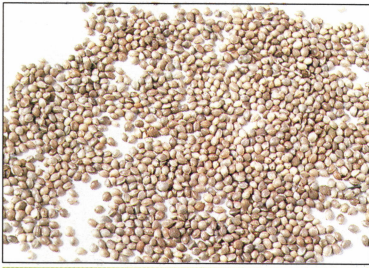
ぼう ふう
防風 セリ科
和名ポウフウ

—発汗 解熱 解毒 鎮痛—
ポウフウの根および根茎。ハマポウフウを使うときもあるが代用品である。鎮咳、去痰などの作用があり、かぜによく用いられる。また体の疼痛をとることで肩こり、リウマチ、神経痛にも。



ぼう しょう
芒硝 含水硫酸ナトリウム

—解凝 瀉下 利尿—
天然の含水硫酸ナトリウム。古くは硫酸マグネシウムを用いていたこともある。一種の下剤で、腹満、便秘を治す。しこりをやわらかくし、利尿の効もある。別名を朴硝、馬牙硝ともいう。



ましにん
麻子仁 クワ科
和名アサ

緩下 滋養 潤燥 鎮咳 鎮痛
アサの種子、大麻仁ともいう。充実に虫のつかなかったものが良質。わずかに甘い。体をうるおす作用があり、便秘を治す。また、せきや悪寒、体の疼痛を治す効果もある。



まおう
麻黄 マオウ科
和名マオウ

発汗 利尿 鎮痛 解熱 鎮咳
マオウまたはその同属植物の地上茎を乾燥したもの。アルカロイドを主成分とし、発汗、解熱、利尿、鎮咳、関節の疼痛を治すなどの作用があり、気管支炎や百日咳、ゼンソクにも効果がある。



ほれい
牡蠣 イボタガキ科
和名カキ

—鎮静 強壯 健胃 収斂—
カキの貝殻を乾燥したもの。雨にさらして古くなったものがよい。強壯、鎮静の効があり、胃痛、寝汗、心悸亢進を治す。不眠や精神不安、更年期の神経症などに効果がある。



よくい にん
薏苡仁 イネ科
和名ハトムギ

美肌 利尿 消炎 排膿 鎮痛 強壯
ハトムギの種子を脱穀し、種皮をとり除いたもの、または精白したもの。浮腫、さめ肌、イボなど皮膚疾患に効果があり、また筋の緊張をとき、皮膚のつやをよくする作用もある。



もくつう
木通 アケビ科
和名アケビ

消炎 利尿 通経 催乳 排膿 鎮痛
アケビまたはミツバアケビのつる性の茎幹。なるべく太くそろった大きさのものを乾燥させたのがよい。味は苦い。消炎性の利尿剤で鎮痛、排膿の作用がある。また通経、催乳の効もある。



もくこう
木香 キク科
和名モクコウ

健胃整腸 利尿 去痰 駆虫 驅風 収斂
南シナ、東インド地方などに産するモクコウの根。唐木香ともいう。芳香があり、下痢、消化不良、食中毒、嘔吐、腹痛などを治す処方に配剤される。沈滞した気分を引き立てる作用もする。



れんぎょう
連翹 モクセイ科
和名レンギョウ

—消炎 利尿 排膿 解毒—
シナレンギョウの果実を乾燥したもの。新鮮で軸がなく、香気の強いものを良品とする。消炎、解毒、排膿、利尿の効があり、皮膚病やはれもの内服剤として用いられる。



りゅうたん
竜胆 リンドウ科
和名リンドウ

—健胃 解熱 消炎—
リンドウの根茎および根を乾燥したもので、甘みが少しありながら苦みの強いものが良質。この苦みの成分ゲンチオピクロシドには健胃の効果があり、また解熱剤、消炎剤としても効用がある。



りゅうこつ
竜骨

—鎮静 強壯 収斂 止血—
アジア産の前世紀の哺乳動物（アジアマンモスなど）の骨の化石。主として炭酸カルシウムよりなるもの。動悸をせず、不眠を治し、遺精、早漏を治す。粉末は外用して止血の効がある。